

ジェネリック医薬品にかえてみませんか？



ジェネリック医薬品って何？

ジェネリック医薬品（後発医薬品）とは、新薬の特許期間が切れた後に販売されるお薬のことです。新薬の2～8割という安価で購入できるため、お薬代の負担を軽くすることができます。



ジェネリック医薬品差額通知をお送りします
国民健康保険の被保険者で、処方されているお薬をジェネリック医薬品に切り替えた場合、自己負担額が一定以上軽減されると見込まれる方に、利用差額を試算した「ジェネリック医薬品に関するお知らせ」をお送りしていますので参考にしてください。

通知発送時期：10月下旬、2月下旬の年2回

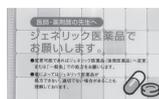


どうして安い？

新薬を開発するためには、長い時間と膨大な開発費用がかかるため、価格も高くなります。ジェネリック医薬品は、開発後期間が経過した新薬と同じ成分で製造されるため開発費用が抑えられる分、低価格になっています。



ジェネリック医薬品を希望するときはジェネリック医薬品への変更希望を医師や薬剤師に相談してください。言いにくい場合は「ジェネリック医薬品お願いケース」などを保険証や診察券と一緒に出せばスムーズに意思表示できます。



◀ジェネリック医薬品お願いケース
保険医療課（市役所1階）5番窓口で国民健康保険に加入している方へお渡ししています。



本当に安全？

効き目や安全性については、新薬と同じ有効成分を使っており、基本的には違いはありません。薬事法により国の厳格な審査を経て製造、販売が認められているので、安心してお使いいただけます。



留意していただきたいこと

薬によっては、ジェネリック医薬品が存在しない場合もあります。また、患者さんの症状や体質によって医師の判断によりジェネリック医薬品の使用が認められない場合や、医療機関の状況によって対応できない、もしくは取り寄せとなる場合もあります。



問合先 保険医療課 Tel.28-8016

高齢者インフルエンザ予防接種

- 対象 65歳以上の市民の方
- 実施期間 11月1日(火)～12月31日(土)
- 接種回数 一人1回
- 料金 本人負担額 2,050円
(生活保護受給者は、無料で接種できますので事前に福祉課にお申し出ください。)
- 持ち物 健康保険証

【実施医療機関】 次の医療機関に直接お申し込みください。

医療機関名	電話番号	医療機関名	電話番号	医療機関名	電話番号
石田クリニック	24-2125	佐藤医院（一の坂町）	23-3255	滝川脳神経外科病院	22-0250
えべおつファミリークリニック	75-5500	佐藤病院（泉町）	24-0111	武田医院	23-2039
おおい内科循環器科クリニック	23-8880	鈴木内科クリニック	23-2753	文屋内科消化器科医院	23-5195
男澤医院	23-3183	そらち乳腺・肛門クリニック	22-4568	脳神経よしだクリニック	26-2600
神部クリニック	22-2021	たきかわクリニック	23-1818	若葉台病院	75-2266
久保会医院	22-3363	滝川中央病院	22-4344	空知中央病院（新十津川）	76-4111

問合先 保健センター Tel.24-5256

滝川市立病院のインフルエンザ予防接種について

新型コロナウイルス感染拡大防止対策と発熱外来対応のため、小児（中学生以下）、入院患者および透析患者のみ実施します。

問合先 市立病院 Tel.22-4311